

令和3年度保育力向上研修会

(ステップアップ研修・フォローアップ研修)を実施しました!

令和3年7月29日(木)、保育力向上研修(ステップアップ研修・フォローアップ研修)を実施しました。

ステップアップ研修は採用2~3年目、フォローアップ研修は採用4~7年目の幼稚園教諭、保育士、保育教諭等を対象としたキャリアに応じた研修として大分県幼児教育センターが実施しています。今年は、聖徳大学教授 河合優子先生を講師に迎え、幼児教育における諸課題の中でも、「特別な支援を要する幼児に応じた指導」に焦点をあて、ご講義いただきました。



河合優子先生のリモートによる講義の様子

【研修の内容】

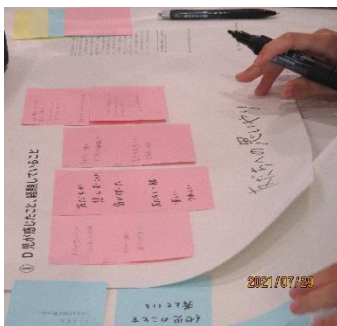
講義の前半は、幼稚園、保育所、認定こども園において共通する事項として、新しい教育要領、保育指針で示された幼児期の学びがその後の小学校、中学校、高校につながるという「学びの連続性」のことや、「資質・能力の3つの柱」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「環境を通して行う教育、保育」等について、具体的な事例を挙げながらお話ししていただきました。

後半は障がいのある幼児などへの指導について、指導計画作成の重要性や専門機関・家庭との連携に触れてお話ししていただきました。

その後、ステップアップ研修では、事例をもとに周りの子どもたちとの関わり、教師の関わり等についてグループ協議を行いました。フォローアップ研修では、「気になる幼児について考えてみよう」をテーマに、クラスの「気になる」幼児について一つのケースを取り上げグループ協議を行いました。「気になる」幼児が興味を持っていること等を生かした援助は?、「気になる」幼児にとって困難な場面は?、困難なことが起こらないように工夫するとすれば?、困難なことが起こってしまった時の対応は?…等、互いに質問したり自分の経験から意見を交流したりする等、先生方の熱心な協議の姿が印象的でした。



ステップアップ研修の様子



演習の様子

【参加者の感想】 ~ステップアップ研修~

- ・グループ協議を通して1つの問題でも一人一人考え方が違うことを改めて感じ、子どもたちにとってのよりよい環境作りを行うためにも保育者間で連携を図っていくことの大切さに改めて気付くことができました。
- ・特別な配慮を必要とする幼児に対して困った子だと思っていないか?自分たちで解決しようとしていないか?保護者に一方的にできごとを伝えていないか?等の問いかけにはっとさせられました。
- ・2年目になり、やっと仕事にも慣れてきたところですが、発達障害の子どもへの対応がわからず困ることがあります。悩んでいるのは自分だけではないのだと思ったり、自分だけで解決しようと思わずに専門の機関を頼ったり先輩保育士のことを見て学ぶことが大切だと改めて思いました。

【参加者の感想】 ~フォローアップ研修~

- ・グループワークは、自分のクラスの子をケースに挙げていただき、知らず知らずのうちに思い詰めていた自分に気がつき、また他の先生方からのアドバイス、客観的な視点をいただき、道が新たに開け、肩の荷が下りたように感じました。
- ・グループワークでは3人の立ち位置や視点から、一人の子の育ちを考えることができました。このワークがそのまま園で実践でき、指導計画をたてる材料として必要だと学び、とてもわかりやすい内容でした。今後の保育に役立てていきたいです。
- ・今、まさに気になる子と日々、向き合っている保育をしているので、時々心が折れそうになることもあります。でも、グループには同じ悩みを持っている先生もいて、みんながんばっているのだと勇気も出ました。子ども一人一人を大切にしてみんなで話し合い、考えることが大切だと知り、園でも実践していこうと思いました。
- ・少し自分の保育に悩んでいるところでした。「保育者の決めたことだけをさせるのではなく、子どもの好きなことだけをさせるのではなく、バランスを考えた保育」という言葉にとっても考えさせられました。



フォローアップ研修の様子